

「ダイバーシティ就労研究プラットフォーム
海外状況整理部会の進め方について」(案)

2018年10月30日(火) 10時~12時

I. 趣旨

主要国の、障害者を始め、生活困窮者、その他働きづらさを抱える者に対する就業対策、障害者だけから障害者以外を含む「ダイバーシティ就労化」の動向などを調査し、ダイバーシティ就労研究プラットフォームの検討に資する成果をまとめる。

2. 部会委員

- ・松井亮輔法政大学名誉教授(座長)
- ・寺島彰日本リハビリテーション協会参与(元浦和大学総合学部教授)
- ・永野仁美上智大学法学部教授
- ・石崎由希子横浜国立大学大学院国際社会科学研究院准教授
- ・西村淳神奈川県立保健福祉学部教授

+ 今後、米国、オランダ、スウェーデン各国事情に詳しい者を加える。

3. 調査項目(案)

- 障害者に対する就業対策(一般就労、支援付就労、保護就労)
- 生活困窮者に対する就業対策
- その他働きづらさを抱える者に対する就業対策
- 社会的包摂(ソーシャル・インクルージョン)施策の全体概要
- ソーシャルファームの動向
- 障害者だけから障害者以外をも含む「ダイバーシティ就労化」の動向
- 「働きづらさを抱える者」の就業困難度の認定方法
- 政策効果分析事例(あれば)

4. 2018年度の予定

- 第1回(2018年10月30日)
自由討議
- 第2回(2018年11月ないし12月)
今後の検討方向について
- 第3回(2019年2月)
2019年度の検討内容等